



# 町政を問う

## 質問者



松本 一二美 議員

## 問 栄養教諭の配置を

学校栄養士が教員免許を取得して、食に関する指導を行う栄養教諭制度が平成17年4月にスタートした。当町の栄養教諭配置の考えは。

松前町食育推進会議設置や食育推進計画制定の考えは。学校と家庭の食育に関する連携と指導の取り組みは。

## 答 県へ強く要望

答弁 白石町長

食育の大切さは十分認識しており、食育の取り組みは担当ごとに、栄養指導や栄養相談などを実施しています。食育推進会議や食育推進計画は積極的に取り組めます。栄養教諭は、肥満や偏食、植物アレルギーなどの児童生徒の個別指導、学校担任と連

携して効果的な指導を行うとされています。来年度は、愛媛県公立学校全体で15名程度採用する予定です。松前町として、2名の配置を県へ強く要望します。



保育所

## 問 保育所を 民営化に

幼児期の人間形成に大きな影響があるときされる保育士。正職員と臨時保育士に対する考えは。

保育士にやりがいと意欲ある仕事を望むなら、また利用者の多様なニーズに臨機応変に対応するために、保育所を公設民営化に。民間委託の考えは。

## 答 総合的に検討

答弁 白石町長

松前町保育士の正職員に対する臨時職員の数が多すぎる事は十分認識しており、是正に今取り組みんでいます。保育所は子育て支援の大きな柱です。松前町は現在7ヶ所の保育所がありますが、今後は、幼・保一元化、民営化・統廃合も視野に入れて総合的に検討していきます。

## 問 障害者支援は

障害者自立支援法が平成17年10月成立した。

身体・知的・精神の三障害福祉施策が一元化する。松前町で障害認定されている方はどのくらいか。障害者も社会の一員として就労希望を持っている。三障害の壁を越えて、町内に授産施設を立ち上げようとの息吹があるが、行政として授産施設・通所施設への助成の考えは。

## 答 協議し支援を考慮

答弁 永田福祉課長

松前町では、約1,300名が障害者手帳を所持されています。障害者や障害者団体と協議しながら、障害者福祉の維持向上に努力します。授産施設・通所施設への支援も、考慮していきます。